

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚がん	
	タイプ	医学情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Reduction of solar keratoses by regular sunscreen Use	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	SCC-CQ1-4、WEB 版 SCC-CQ1-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ II ）	
	Pubmed ID	8377777	
	医中誌 ID		
	雑誌名	New Eng J Med	
	雑誌 ID		
	巻	329	
	号		
	ページ	1147-51	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1993	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Thompson, S. C. Jolley, D. Marks, R.	Anti-Cancer Council of Victoria, Carlton, Australia.
その他著者 1			
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	サンスクリーン剤使用による日光角化症の予防効果	
	研究デザイン	ランダム化比較試験	
	セッティング	オーストラリア、ビクトリア州、	
	対象者	40 歳以上で 1 - 3 0 個の日光角化症を持っていたオーストラリア人	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (15)	
	介入 (要因曝露)	サンスクリーン剤の使用	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	個体別日光角化症の発症数	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	主な結果	サンスクリーン剤を毎日使用して 7 ヶ月間日光角化症の発症を調べた。サンスクリーン剤使用群は基剤のみを使用した群における日光角化症の平均発症個数は、それぞれ 1.6 個対 2.3 個であり、RR は 0.62 であった。また、サンスクリーン剤使用群では病変の自然消失も増加した (OR:1.5)	
	結論	日常的なサンクリーン剤は日光角化症の予防に役立つ。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	宇原 久	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (II) 観察期間が 7 ヶ月間と短い。既に日光角化症のある患者について調べたものであり、リスクの高い患者では中年以後にも予防効果があるということを示しているのかもしれない。また、自然消退も多い	

		ということはサンスクリーン剤による遮光が紫外線による皮膚の免疫低下も予防しているのかもしれない。
--	--	--